

氏名	清水 新悟	部署	理学療法学科	職名	助教
研究分野	義肢装具学 スポーツ工学 動作分析				
学位	博士(学術)				
学歴	名城大学博士前期課程修了				
経歴	医療法人三仁会(平成15年4月~平成26年3月) 北海道科学大学(平成26年4月~令和4年3月)				
所属学会(役職)	日本義肢装具学会(正職員) 日本理学療法学会 日本スポーツ整形外科学会 日本膝関節学会臨床スポーツ医学会 バイオメカニズム学会 日本足の外科学会 日本義肢装具士協会(編集委員)				

【2023年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	扁平足に対する足底挿板療法が肘屈曲筋に与える影響	共著	あり		日本義肢装具学会誌 39(3).pp.225-228	清水新悟 桑原基宏 後藤慎 花村浩克 岩堀裕介	2023年7月
2	Long-term Effects of Plantar Plate Therapy for Subtalar Joint Valgus Type for One Case Osteoarthritis of the Knee	共著	あり		Journal of Rehabilitation Practices and Research 4(1) pp1-7 JRPR, an open access journal	Shingo Shimizu Yukihisa Katou Seiji Sabashi Kunio Ida Hirokatu Hanamura	2023年8月
3	Investigation of Impact Absorption Function of Carbon Plantar Plate for Low Arch Foot	共著	あり		Journal of Rehabilitation Practices and Research 4(1) pp1-9 JRPR, an open access journal	Shingo Shimizu Masaki KIDO Kenji KOBASHI Kazunori Sasaki Yanling Pei	2023年8月
4	足根管症候群を呈した1症例に対する足底挿板療法の効果	共著	あり		PO アカデミー ジャーナルVol. 31, No. 4 : 199-203	清水新悟 佐橋政次 花村浩克	2024年3月
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	外反扁平足に対するニュートラル型ポジション誘導型足底挿板による距骨下関節への影響	共同		第96回日本整形外科学会学術総会 2-5-17 S400	○清水新悟 高田彬博 佐々木拓郎	2023年5月	
2	足根管症候群を呈した1症例に対する足底挿板療法の効果	共同		第29回日本義肢装具士協会学術大会 119-120	○清水新悟 佐橋政次 花村浩克	2023年7月	
3	足部アーチが足の浮き趾に及ぼす影響	共同		第11回日本運動器理学療法学会学術大会 P24-10	○清水新悟 加藤幸久	2023年10月	
(4) その他							
	名称	単・共		発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	該当なし						

2. 競争的資金等の研究				
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	研究助成金	形状記憶合金による外反母趾矯正器具の開発	清水新悟	2023.10.1～2024.2.29
3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	義肢装具学		15	義肢装具の名称や機能、適応を基礎から臨床応用まで学び、切断の評価からリハビリテーションを理解できるように工夫した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	基礎運動学演習		10	姿勢制御について人の重心を理解し、転倒ないように身体が反応するシステムや関節モーメントを学ぶことで立位姿勢の保持を理解できるように工夫した。
2	臨床運動学演習		30	脳卒中片麻痺の歩行動作と大腿切断の義足歩行動作を見て動作分析を行った。2種類の歩行を確認し、その違いを述べられる様に行った。
3	理学療法セミナー1		2	臨床教育実習に学生が行く前の評価のテストである。
4	理学療法セミナーII		2	臨床教育実習に学生が行く前の理学療法のテストである。
5	理学療法学研究法演習		1	どんな研究を行っているのか、選択科目義肢装具適合支援学の内容などをスライドを使用して説明を行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	義肢装具学実習		45	実際に切断者を評価し、切断リハビリを理解する。また模擬義足を装着しての義足歩行練習なども取り入れることで義足歩行の難しさを体験する。
2	IPW実習		45	オンラインにて開催。各学生に名前と呼ぶようにし、敬語を使用しないで話しやすい環境を作った。
3	日常生活活動指導実習		18	福祉用具などを施設に行って実際に見たり触ったりして体験するように工夫した。
4	義肢装具学実習（OT学科）		4	作業療法学科に義足と切断の評価方法と模擬義足体験の実習を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導 名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	オープンカレッジ	地域産学	正しい靴とインソールの知識	2023年9月
2	臨床実習地講習会	地域産学	足底挿板療法の効果（基礎編）	2023年8月
3	第40回日本義肢装具学会研修セミナー	日本義肢装具学会	脳卒中者に対する短下肢装具再考～何を選びどう使うか～	2024年2月
4	第15回補装具支援のあり方研究会	専門リハビリテーション研究会	最新の義肢装具療法	2024年2月
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	該当なし			

(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	倫理委員会にて研究の倫理審査を行う		2023年4月～
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			